

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成28年1月12日
主管学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	寺内 浩

実施概要	主管校	群馬大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	「ふようまつり」（学校とPTAの共催による「学校祭」）
	実施日時	平成27年9月5日(土)9時～14時
	実施場所	群馬大学教育学部附属特別支援学校 校庭他
	実施目的	児童生徒がステージ発表や販売などに力を発揮し、それらをとおして人とのかわり、お祭りの雰囲気味わうこと、地域の方やボランティア学生等、多くの来校者に本校及び本校の児童生徒に対する理解をより深めていただくこと。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング（おみこし登場、各代表あいさつ等）・ステージ発表（卒業生の合唱、児童生徒の発表、群大音楽科「吹奏楽演奏」、附属中生徒の「附中ソーラン」等）・おまつり（作業製品、農園野菜、フランクフルト、焼きそば、かき氷等の販売、カフェの開店）・エンディング（上州睦会八木節演奏、各代表あいさつ等） ・作品展示（若宮地区高齢者学級、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校、PTA） 	
実施方法	「ふようまつり」は地域開放・自由参加型行事である。児童生徒が地域の住民宅一軒一軒を回り、祭り開催のチラシを配付し、参加を呼びかけることから始める。企画運営は、PTAと学校が協力して行い、事前に実行委員会を数回開催し、内容等の検討を重ねる。実行委員会には附属三校園の各PTA役員や関係団体にも呼びかけ、共に作り上げるようにする。当日は、ステージ発表や販売活動をとおして、地域の方やボランティア学生、附属中生や附属三校園（幼・小・中）の保護者とともに交流を深める。	
参加人数	約700名	

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、日々の学習の成果としてステージ発表を行ったり、作業製品の販売を行ったりした。 ・本校のふようまつり（学校祭）は、PTAが中心となって企画や準備を行う行事であるため、ほぼ全ての保護者が模擬店の運営に携わった。その際、附属三校園（幼・小・中）の各PTA役員、附属中生（学友会）に模擬店運営の協力をいただいた。 ・福祉施設の模擬店や地域の高齢者学級の方々の作品展示、本校卒業生の会の方々のステージ発表なども、ふようまつりのプログラムの中に位置づけた。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのステージ発表や販売活動では、普段子どもたちがどんな学習を行っているのか、またその成果はどのように発揮されているのかを、来校者の方に直接知っていただける機会となった。 ・今年は新たに、本校中学部と近隣中学校、特別支援学級の生徒と一緒にステージで「ソーラン節」を発表し、祭りを大いに盛り上げた。本番に向け、互いの学校を行き来しながら練習を重ねることで、互いの名前を呼び合うなど、親交を深めるきっかけとなった。 ・毎年恒例の附属中生による「附中ソーラン」が始まると、本校の子どもたちも一緒に踊り始める様子が見られ、附属中生もその姿を受けて自然に輪になるなど、共に楽しもうとする姿が見られた。 ・附属三校園（幼・小・中）の各PTA役員と本校の保護者が共に模擬店の運営を行う中で、互いの子どもの様子について情報交換する機会となり、保護者同士の交流が結果的に互いの子どもの理解を深めることにつながった。
	所感	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体のステージ発表では、交流をメインにすることで、本校の子どもたちとの自然な交流がより深まった。参加者、来校者、本校の子どもたちにとって、お祭りをとおして相互理解を図ることができた。 ・附属中学校、近隣中学校の生徒が「ふようまつり」に参加し、ステージ発表において共に活動することで、一緒に作り上げる楽しさや満足感、達成感などを互いに感じる機会になった。

添付書類

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成28年2月24日
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校
学年	高等部3年

- ・高等部の発表「だんべえ踊り」がうまく踊れました。
- ・いきものががりの曲でダンスを踊りました。衣装をつけてステージで踊りました。先生や友だちと一緒に踊って、楽しかったです。
- ・あそびアートカフェにお客さんがたくさんきました。うれしかったです。
- ・「だんべえ踊り」が楽しかったです。
- ・睦会の人と踊った「八木節」が楽しかったです。
- ・あそびアートカフェでお客さんと一緒に遊びました。楽しかったです。
- ・おみこしワッショイが一番楽しかったです。
- ・「ジョイフル」の曲で踊りました。とっても楽しかったです。
- ・模擬店で買ったフランクフルトがおいしかったです。
- ・来年は、からたち学級（卒業生の会）で「ふようまつり」にきたいです。

活動に参加しての感想



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成28年2月24日
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校

- ・たくさんのお客さんがみえて、当日のために準備してきた子どもたちの張り切った姿が印象的でした。
- ・ステージ発表では子どもたちや保護者、来校者の方が音楽に合わせて楽しそうに一緒に歌ったり、体を動かしたりしていました。皆さんの笑顔が印象的でした。
- ・恒例の「附中ソーラン」は実は中3生にとっては、みんなで踊る最後の「附中ソーラン」でもあり、特別支援学校の生徒たちと踊る姿は一段と気合いが入っているように思いました。
- ・本年度は模擬店を出店する際に、三校園のPTA役員さんと附中生にも手伝っていただきました。とても活気あふれる明るい模擬店になりました。
- ・児童生徒が頑張る姿を見て、元気と勇気を分けていただきました。一生懸命に練習をして本番を迎え、1つ1つの言葉を聞き、1つ1つの姿勢、笑顔を見ていると、「ふようまつり」に対する熱意と情熱が伝わってきました。
- ・高等部のあそびアートカフェで子どもが楽しく過ごさせていただきました。
- ・三校園のPTA役員さんと本校の先生方と保護者が一丸となって取り組む大きな行事に関わることができ、大変素晴らしい経験になりました。
- ・本校の地域とのつながりや子どもたちへの温かいまなざしを改めて知る機会となりました。
- ・今後も附属四校園のより一層の連携が密接に続くことを期待します。

